

こくみん共済U-12 サッカーリーグ (in 富山県) 大会要項

1. 主 旨 選手達が無理なく移動しゲームが行えるよう、地区を基本とする生活圏内において、年間を通じて年代に適したプレーできる事を目的とする。
2. 名 称 こくみん共済U-12 サッカーリーグ (in 富山県)
3. 主 催 公益財団法人日本サッカー協会
4. 主 管 公益社団法人富山県サッカー協会、富山サッカー友の会
5. 特別協賛 全労済(全国労働者共済生活協同組合連合会)
6. 期 日 2016年4月～2016年9月
4/23, 24、5/7, 8, 14, 15、6/4, 5, 18, 19、7/2, 3, 16, 17、8/6, 7, 27, 28、9/3, 4
7. 会 場 殿様林緑地グラウンド、常願寺川運動公園、富山県総合運動公園他
8. 参加資格 (1) 2016年度(公財)日本サッカー協会に第4種加盟登録された6年生以下で構成されたチームもしくは選手であること。単一加盟チームから2チーム以上の参加を認める。但し、最高学年の選手が8人以上登録されていること。また指導及び帯同審判員の兼務は認めない。
(2) 常時指導しうる責任のある指導者のいるチームであること
(3) 引率指導者は当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上が本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
(4) 試合には、4級以上の審判員を帯同させること
(5) 各チームの責任者は、保護者の同意を得ること
(6) 参加者はスポーツ傷害保険等に加入済みのこと
(7) ユニフォームは異色の物を2着用意すること
9. 試合方法 (1) 参加チームを11グループに分ける。
但し、2015年度の林吾郎杯の上位16チームはAブロック、Bブロックに分け、その他のチームは事業運営委員会での責任抽選とする。
(2) リーグでの順位決定方法は勝点の多い順に決定する。(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)なお、勝点の合計が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
 1. 全試合の得失点差(総得点-総失点)
 2. 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
 3. 全試合の総得点
 4. 1.～3.の全項目において同一の場合は、抽選により決定する

10. 競技規則 (公財)日本サッカー協会競技規則 (JFA 8人制サッカー競技規則) による。

11. 競技のフィールド

- (1) フィールドの長さ (タッチライン) は 68m、幅 (ゴールライン) は 50m とする。
- (2) ペナルティエリア等：

ペナルティエリア	12m
ペナルティーマーク	8m
ペナルティアークの半径	7m
ゴールエリア	4m
センターサークルの半径	7m
- (3) ゴールポストの間隔は 5m、クロスバーのグラウンドからの高さは、2.15m とする。
※ゴールは、競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない
- (4) 交代ゾーン：自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに 6m の交代ゾーンを設ける (ハーフウェーラインを挟んで 3m ずつ)

12. 試合球 4号球とする

13. 競技者の数および交代

- (1) 1 チーム 8 人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち 1 人はゴールキーパーとする。
本大会においては、8 人に満たない場合は試合を開始しない。試合中に怪我等による人数不足により 8 人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。
- (2) 登録できる交代要員および交代の最大人数は 20 名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
- (3) 交代の手続き：
 - ① 交代については、主審の承認を得る必要はない。
 - ② 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 - ③ 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ④ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
注) ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- (4) ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

14. 競技者の用具

- (1) 競技者の用具については、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」およびユニフォーム規程に従うものとする。
- (2) 選手番号については、「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。

サッカー競技規則からの抜粋

第4条 競技者の用具

基本的な用具

競技者が身につけなければならない基本的な用具は次のものであり、それぞれに個別のものである。

- 袖のあるジャージーまたはシャツ——アンダーシャツを着用する場合、その袖の色はジャージーまたはシャツの袖の主たる色と同じでなければならない。(注：ビブスによる対応は認められない。)
- ショーツ——アンダーショーツを着用する場合、その色はショーツの主たる色と同じでなければならない。
- ストッキング
- すね当て
- 靴

色

- 両チームは、お互いに、また主審や副審と区別できる色の服装を着用しなければならない。
- それぞれのゴールキーパーは、他の競技者、主審、副審と区別できる色の服装を着用しなければならない。

注：「服装」とは、シャツ、ショーツ、ストッキング、靴の全体のことであり、同じチーム内でフィールドプレーヤーとゴールキーパーが、同色のショーツ、ストッキングを着用することは原則として認められる。

ユニフォーム規程からの抜粋

第6条 ユニフォームへの表示

ユニフォームにはチーム名・選手番号を必ず表示するものとする。(略)

②選手番号

(1) 選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩（服地が縞柄の場合には台地を付ける）であり、

かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

(2) 選手番号を付する場所およびサイズは、次の通りとする。

シャツ背中 高さ 25cm-35cm

シャツ前面 右側、左側または中央に、高さ 10cm-15cm

ショーツに選手番号を表示する場合は、前面の右側または左側に、高さ 10cm-15cm

(3) 番号は整数の1から99を使用し、0は認めない。(略)

注：ゴールキーパーの負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレーヤーがゴールキーパーに代わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。

15. テクニカルエリア

- (1) テクニカルエリア（ベンチ）に入ることができる人数は、交代要員 12 名、引率指導者 3 名とする。
- (2) その都度ただ 1 人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

16. 審判員

1 人審判で行う。

17. 試合時間

- (1) 試合時間は前、後半とも 20 分間とし、ハーフタイムのインターバル（前半終了の笛から後半開始まで）は 10 分とする。
- (2) 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。

18. 警告・退場

- (1) 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (2) 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (3) 本大会の異なる試合において警告を 2 回受けた競技者は、本大会の次の 1 試合に出場できない。
- (4) 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は、大会実行委員長が務める。委員については運営委員、審判委員から一人ずつ委員長が任命する。

19. 参加申込

- (1) 参加申込できる最大人数は、選手、引率指導者ともに制限を設けない。
- (2) 「参加チーム」は、参加申込書に必要事項を記入の上、2016 年 2 月 28 日（土）までに参加申し込みはがきを送付すること

20. 日程変更

学校行事のみ試合変更を認める。但し、1 チーム 3 回までとする。

21. 組合せ

3 月 8 日の事業運営委員会により責任抽選とする。

22. 経費

大会にかかる経費は、主催者、主管協会で負担するが会場に至る往復の交通費及びその他大会参加に必要な経費は参加チーム及び参加者の負担とする。

23. その他

- (1) 全日本少年サッカー大会富山県大会に出場するチームは、本大会の出場を必須とする。
A グループの 1 位～4 位は、第 40 回全日本少年サッカー大会富山県大会のシード権を得る。
- (2) 試合中に発生した負傷、疾病は大会本部にて応急手当はするが、その後の治療に関しては各チームのスポーツ傷害保険等にて対応すること。
- (3) 取り替え式ポイントシューズの使用を禁ずる。
- (4) 試合時間 40 分前に、大会本部へ当日メンバー表を 2 部提出、ユニフォーム（FP・GK）各正・副一式（シャツ・ショーツ・ストッキング）を提示し、試合日程の左側をホームチームとし、着用するユニフォームは主審が決定する。
尚、メンバー表は富山サッカー友の会のホームページからダウンロードした公式戦メンバー表を使用のこと。
- (5) 特別の場合を除き、雨天決行とする。
- (6) 途中棄権チームが出た場合、当該チームの対戦記録を抹消する。